

2017 年 11 月 10 日

みずほグローバルオルタナティブインベストメンツ株式会社

**みずほグローバルオルタナティブインベストメンツの
フィデューシャリー・デューティーの実践に向けた
2017 年度アクションプランの中間取組状況について
～お客さま本位の業務運営の徹底～**

みずほグローバルオルタナティブインベストメンツ株式会社（以下「当社」）は、〈みずほ〉グループの一員として、株式会社みずほフィナンシャルグループ（以下「FG」）が定める『〈みずほ〉の企業理念』を採択し、同理念に定める「お客さま第一」をはじめとした 5 つの価値観・行動軸（みずほ Value）を全ての役員と社員が共有し、フィデューシャリー・デューティー^{*1}（以下「FD」）を全うすべく、お客さまの多様なニーズへの的確な対応や、最高水準のソリューションを提供する取り組みを行っております。

当社は、資産運用関連業務に関する FD の実践に向けた対応を強化する観点から、FG が策定した「〈みずほ〉のフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」（以下「取組方針」）を採択するとともに、当該取組方針の実践に向けたアクションプラン（以下「アクションプラン」）を策定・公表しております^{*2}。

当社は、2017 年度アクションプランの中間取組状況について、新たに設定したお客さま本位の業務運営の定着状況を確認するための定量指標（KPI）を含め、別紙の通り公表いたします。今後は、定量指標（KPI）の推移も含めて PDCA サイクルの中で適切にフォローし、業務運営の改善に活かすとともに、取組状況を年度毎に公表してまいります。

別紙 1 定量指標（KPI）の設定とアクションプラン取組状況の公表について

（FG のウェブサイトへ移動）

別紙 2 グループ管理方針に関する 2017 年度アクションプランの中間取組状況

（FG のウェブサイトへ移動）

別紙 3 運用・商品開発機能に関する 2017 年度アクションプランの中間取組状況

^{*1} 他者の信認に応えるべく一定の任務を遂行する者が負うべき幅広い様々な役割・責任の総称

^{*2} みずほグローバルオルタナティブインベストメンツの「フィデューシャリー・デューティーの実践に向けた取組方針」について

（URL）<https://www.mizuhobank.co.jp/mgai/pdf/20170403.pdf>

運用・商品開発機能に関する 2017 年度アクションプランの中間取組状況

みずほグローバルオルタナティブインベストメンツは、〈みずほ〉グループの一員として、またオルタナティブ投資のゲートキーパーを営む資産運用会社として、今後もお客さまの立場に立った施策を実践してまいります。

以下では、取組方針に基づき設定した 2017 年度アクションプランの中間取組状況と、お客さま本位の業務運営の定着状況を確認するための定量指標（KPI）について、掲載いたします。

【アクションプラン項目】

1. 運用の高度化
2. 商品品質の向上とお客さまニーズを捉えた商品開発に向けた不断の取り組み
3. お客さまの立場に立った情報提供やサービスの充実
4. ガバナンス強化

FD 実践

1. 運用の高度化

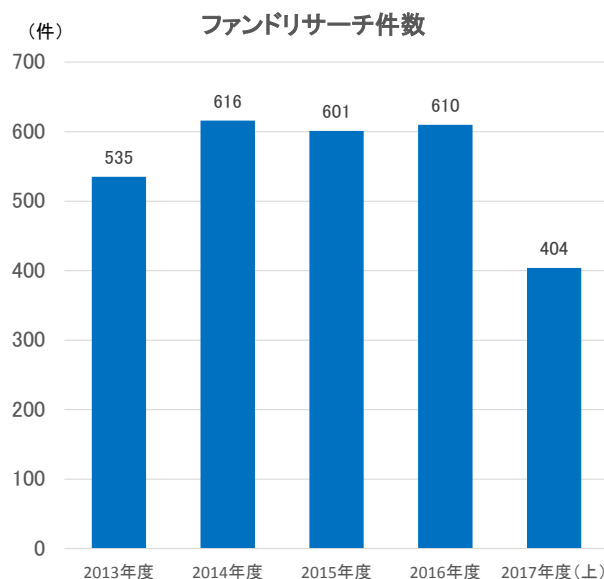
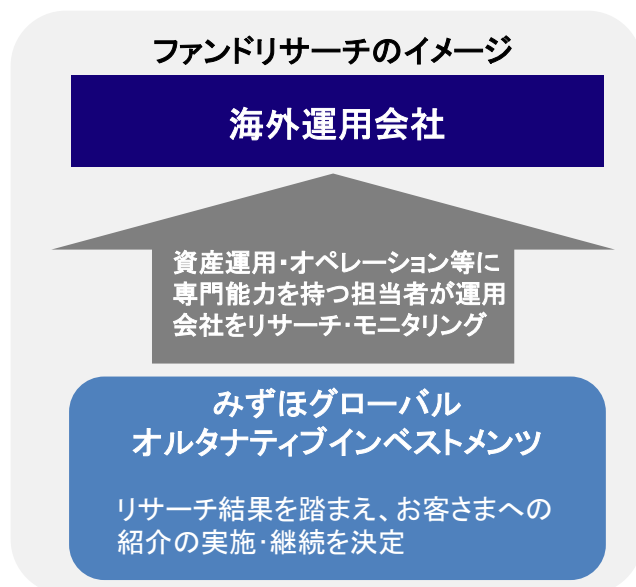
アクションプラン

- 商品や運用を通じてお客さまに高い付加価値を提供し続けるため、事業の維持・強化に資する経営資源に対する投資を継続します。
- お客さまの資産運用ニーズに対する最適なソリューションを提供し続けるため、調査・運用力の改善・強化を推進します。

アクションプランの取組状況

- ・ 実績・能力のある人材の採用を継続し、若手人材を主な対象とした社内外トレーニングを行うことで、調査・運用力の強化を進めました。当該調査力を活用した、主に海外運用会社・ファンドに対する運用・その他オペレーションに関する詳細なリサーチに基づいて優良な運用会社の発掘に取り組んでおります。
- ・ 当該リサーチがお客さまに対する適切な商品・情報の提供につながることから、ファンドリサーチ件数を KPI として採用しました。2017 年度上期は次ページ表の通り、404 件のリサーチを実施いたしました。引き続き当社の強みである高い専門性を活かし、お客さまに最適な運用商品・ソリューションを提供してまいります。

【 KPI 項目】：ファンドリサーチ件数】



2. 商品品質の向上とお客さまニーズを捉えた商品開発に向けた不断の取り組み

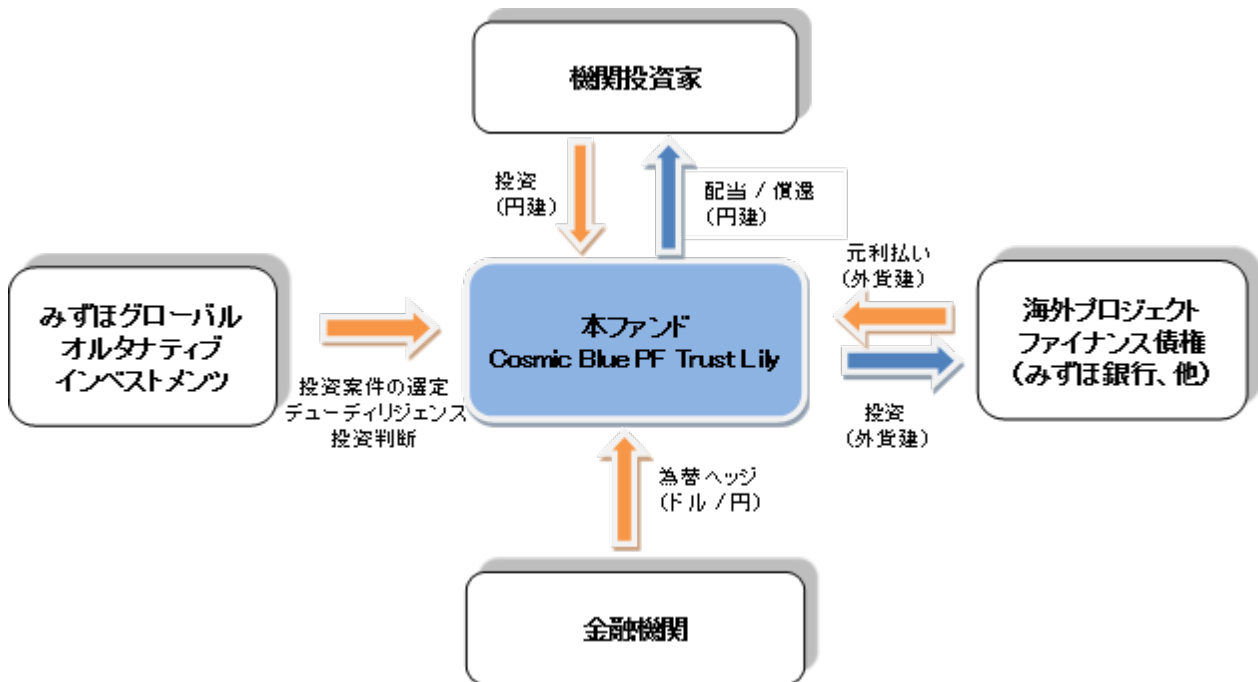
アクションプラン

- お客さまの長期投資に資するべく、商品品質の維持・向上に向け適切なリスク管理やモニタリングを行います。
- お客さま目線に立った透明性の高いプロセスにより運用報酬を決定します。

アクションプランの取組状況

- (1) お客さまの長期投資ニーズを踏まえ、本邦初となる、海外プロジェクトファイナンスのシニアローンを投資対象とするファンド「Cosmic Blue PF Trust Lily（次ページ図ご参照）」を組成しました。引き続き、当社の長期にわたる投資に対するリスク管理・モニタリング能力を活用し、お客さまに多様な投資機会を提供すべく新たな商品開発を進めてまいります。

長期のリスク管理・モニタリング能力を活用したファンド（スキーム図）



- (2) 当社が選定したヘッジファンドを組み入れるお客さま向け SMA^{*1}を設定し、その契約に当社が選定したヘッジファンドの運用結果に応じた報酬を受領する成功報酬制度を織り込みました。これにより、従来の残高のみに基づく報酬受領体系と比較して、お客さまと当社の利害関係の一致がより一層深まりました。

^{*1} Separate Managed Account : 個別のお客さま向けの独立した投資口座

3. お客さまの立場に立った情報提供やサービスの充実

アクションプラン

- お客さまのオルタナティブ投資のゲートキーパーとして、お客さまにとっての分かりやすさを意識した情報提供やサービスを充実させ、情報コンテンツ等の品質向上を目指します。

アクションプランの取組状況

- ・ 当社が取扱う個別戦略を紹介する資料において、それぞれの戦略の特徴（強み/弱み/差別化戦略等）をまとめたページを新たに作成して追加し、お客さまが理解しやすいように改善しました。
- ・ お客さまの金融知識に合わせて商品の説明資料に掲載した図やグラフ、説明文の内容をカスタマイズし、それぞれのお客さまの理解が深まるよう工夫をしました。
- ・ フォントや色を統一したり、イメージ図等を追加したりすることで、直観的にお客さまの理解を促進できる資料作りに努めました。

4. ガバナンス強化**アクションプラン**

- フィデューシャリー・デューティーに則り、お客さまの利益を第一とする経営体制の維持・向上に取り組めます。

アクションプランの取組状況

- ・ お客さまの利益を第一に考え、お客さま本位の業務運営の更なる向上のため、利益相反管理の高度化を進めておりますが、その一環として、みずほ銀行が保有する資産を組み入れたファンドへの投資を含め、利益相反管理の対象となる取引を明確化し、管理する仕組みを構築しました。

(URL <https://www.mizuhobank.co.jp/mgai/coi/index.html>)

お客さま等の支持・評価

- ・ 当社は、オルタナティブ投資のゲートキーパーとして、投資家の目線に立った取扱いファンド選定や投資判断の提供を通じ、常にお客さまのニーズに寄り添う運用サービスの提供を行い、お客さまからのご支持をいただけるよう心がけております。
- ・ 当社設立より7年が経過しておりますが、厳しい商品選定プロセスが必要な金融法人や年金基金等、機関投資家のお客さまを中心に、お客さまのご支持が順調な契約資産残高・投資家数の増加に結びついております。

成果

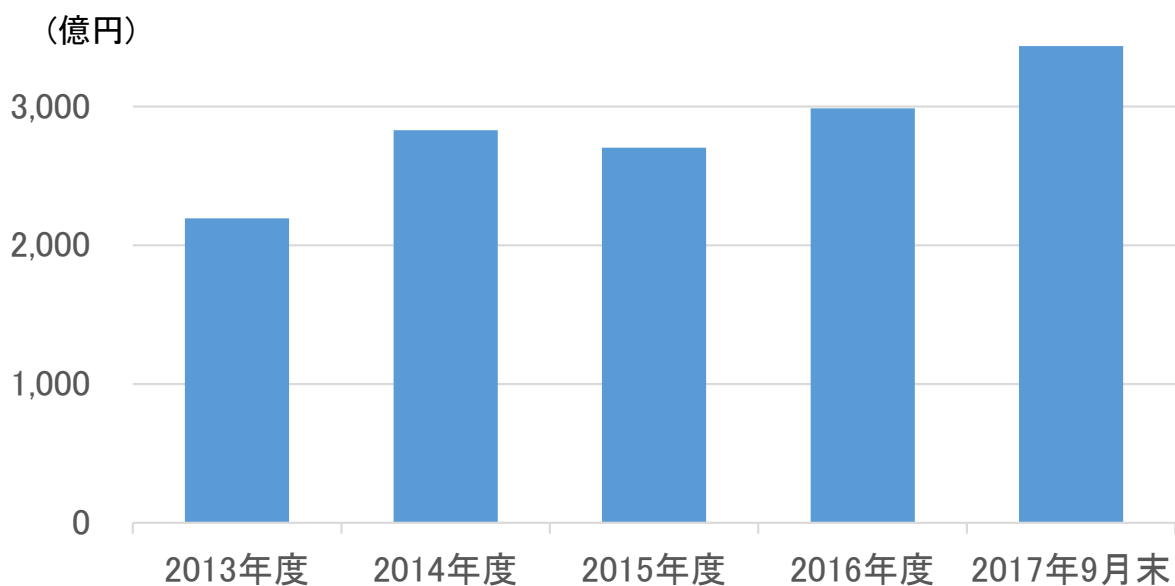
【KPI 項目】契約資産残高

- ・ 中長期でリターンを生み出し、お客さまに信頼される商品の提供など、真にお客さまが満足する商品・サービスを提供し続けることが、お客さまからの支持・評価に繋がり、結果としてお客さまからの預り資産が増加するものと考えております。
- ・ お客さまからの支持・評価の表れである成果として、以下の指標を KPI として設定し、今後定期的に公表してまいります。

契約資産残高

- ・ お客さまの中長期的な資産形成に資することを目指し、お客さまの資産価値の時価変動も含めた、契約資産の時価残高を指標として採用しました。
- ・ 2017 年度上期については、お客さまのニーズに沿った、主にクレジット投資を行うファンドにおいて残高が増加しました。

契約資産残高



- ・ 本記載は、投資勧誘や特定銘柄を推奨するものではありません。
- ・ 掲載のファンドがお客さまの投資目的、リスク許容度に必ずしも合致するものではありません。また、今後の運用成果を予想または示唆するものではありません。

以 上